## 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果 (H28.3/17~31)

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で毎日収集した大気1㎡あたりの浮遊放射性物質の濃度(ミリベクレル/㎡)を測定しました。

(ミリベクレル/m<sup>3</sup>)

測定地点		採取日	3/17	3/18	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31
小高区	川房公会堂	Cs134	不検出														
	(川房)	Cs137	0.27	不検出	0.46	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出							
	金房小学校	Cs134	不検出														
	(飯崎)	Cs137	不検出	0.65	不検出	不検出	不検出	0.23	不検出	0.21							
	塚原公会堂	Cs134	不検出														
	(塚原)	Cs137	不検出														
	横川ダム	Cs134	不検出														
	(馬場)	Cs137	不検出														
	原町保健センター	Cs134	不検出														
原町区	(小川町)	Cs137	不検出														
	高平生涯学習センター	Cs134	不検出														
	(下高平)	Cs137	0.16	不検出													
	市立総合病院	Cs134	不検出														
	(高見町)	Cs137	不検出	0.52	不検出	0.54											
	大原公会堂	Cs134	不検出														
	(大原)	Cs137	不検出	0.20	不検出	0.22	0.22	0.23	不検出								
鹿島区	鹿島区役所	Cs134	不検出														
	(西町)	Cs137	不検出														
	鹿島区3-3消防屯所	Cs134	不検出														
	(南海老)	Cs137	不検出	0.20	不検出												

※検出限界値はおおむね0.2~0.3mBq/㎡の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、放射能濃度が検出限界値未満の場合、「不検出」と判定されます。

## ★渡邉正己京都大学名誉教授(市放射線健康対策委員会委員長)による解説★

今回は、150サンプルのうち13サンプルで放射能が認められ、放射能濃度の平均は約0.3mBq/㎡となっています。

このところ、放射能濃度が低い傾向が続いていますので、科学データから見れば、立ち入りが禁止されている場所以外では、普通に生活して全く問題ありません。

木蓮の白い花に続き、桜も美しい花を咲かせていました。まだまだ不安をお持ちの方もおられるかもしれませんが、自然の美しさを求めて外での活動を増やし健康増進に努めましょう。